

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

16日日曜日、高雄師範大学附属の卒業式に、高口、吉原、もうひと方で参加してきました。14:00から2時間半くらいやっていました。パフォーマンスあり、表彰ありと日本の卒業式とはまったく違います。それは、それでよかったです。のですが、受付の時に表彰してくれというのは状況から分かったので、OKを出しました。ところが、校長先生が挨拶を終え、次は日本人学校の校長の挨拶です、と話をしてしまったのです。壇上に上がるまでに考えてしどろもどろでした。吉原先生が「大家好のところは受けていました」とのこと。私が話し終えて校長がすぐ壇上に上がり補足してくれ「ゴンシーは、日本語でおめでとう」というのだと、私が挨拶したのを解説してくれました。(ひやひやものです。文化が違うのは恐ろしいものです。日本では、挨拶する人には、1ヶ月前に依頼します。)

6月17日(月)

宮本先生が中2で英語の授業をしました。正直なところ、英語の力は相当ひらきがあります。しかし、そこは、プロです。「あの子はできないのであてません」などということは通用しません。当然、そんな授業はしませんでした。それに、英検で例えば、準2級を取っていたとしても完璧ではありません。そのようなみんな合う授業を展開していました。授業後に私と話をして、もう少し、スピーディーに授業が進められないのかという話をしたら、「現在このような状況で、〇〇はよくやっています。もう少ししたら大丈夫だと思います。」としっかり、先を見通した答えをしていましたので、安心しました。

大石先生が中3で理科の授業をしました。物理の「力」の授業でした。最初に演示で実験し、現象から、理屈を説明しようとさせました。実際は、説明ができないのです。そうして、別の実験。そこで、もう一度現象を説明させます。ここからがこれまでの授業と違うところです。力が位置エネルギーと運動エネルギーの和であることを教科書を使い定義しました。その定義を使って現象を説明させました。これまでは、現象を見せて、定義は先生が説明という授業形態が多かったと思います。この大石先生の行った授業によって、子ども達の「力」の理解が深い状態になったと感じました。

6月18日(火)

本田先生が小3で図工の授業をしました。私が福東小の卒業式に出る関係で途中で抜けてしまいました。紙の特性を生かした授業でした。紙を配って「紙を立たせなさい。使っているのは、手と頭だけ」ああじゃない、こうじゃないと工夫して立たせていました。こ

のあと、接着剤はうすくしたときに一番つきやすい、など、クイズ形式で必要なこと教えました。接着剤をつかって立たせるように進んでいきました（ここでいなくなってしまう）授業のねらいは、これまで学習した「はさみ」「のり」を効果的に使う方法の定着を図るとともに、紙を使い、表し方を工夫し、表現力をつけさせようというものです。子どもたちは、「うーん」「おー」などと、頭をひねったり、他の人の作っている様子を見て感心したりと「自分で」「(友人の作品を)モデル」として授業に生かしていました。

福東小の卒業式に参加してきました。式が始まる直前に挨拶をしてくれと校長に頼まれました。中国語で卒業生のみなさん、お父さんお母さんおめでとうと話し、日本語ができる先生に通訳してもらいました。地震の時のお礼、いつも交流校として交流してもらっているお礼をしてきました。暖かな拍手をいただきました。

6月19日(水)

朝学習で吉原先生が研究授業をしました。小1だけでなく大人にも難しいのも入っているかもしれません。例えば、がっこ〇(学校)、ゆ〇れ〇(幽霊)、かきご〇り(かき氷)、せ〇かつ(生活)、かきご〇り(かき氷)、お〇さま(王様)の〇に字を入れる授業です。これが難しい。やってみてください。

澁谷先生が小4で社会科を公開しました。先生も子どもも落ち着いて授業をしていました。先生が質問をしたことに対して、「先生、こんな意味かな？」など、本質に迫る発言が多く聞かれました。この授業が高雄市の浄水場の見学につながっています。水道を中国語で言うと、何でしょう。ペットボトルの水の中にも水道水を処理したものと天然のものを処理したのがあります。ラベルで見分けることができます。

中村先生が小5で算数を公開しました。少数で割るわり算をやっていました。子どもたちに見通しを付けさせ、解決をさせ、自力で解いてみるという授業でした。子どもたちも意欲をもって、かつ、落ち着いて授業をしていました。その計算も、単純に記号操作をするのではなく、状況設定をし、必然性をもった授業でした。かなり鍛えられてきた先生という感想を持ちました。

6月20日(木)

3年生が市内巡りをしてきました。武ミャオ、漢神デパートのジェーソン、85ビル、バナナ埠頭です。台湾の風習や食料品の輸入(もともとの発端はバナナがなんで輸出しなくなってきた?)そして、85の展望台から自分の住んでいるところを探すなどをしてきました。普段行っているところでも、見方を変えるとかなり違ったものに見えて来ます。ドリアンもいただき、私は満足して帰ってきました。(こどもは、おいしいと言った子もいましたが、完食は0でした。)